

タイトル：

「集団判断の「多様性」を考える」

概要：

複数人で物事を決める際には、個々人がそれぞれ異なる意見や考え方を持っている、すなわち多様性があることがよいとされる。なぜなら、集団全体で意見が特定の方向に偏らず、個々人の誤った判断を打ち消し合えるためである。他方で、自分と異なる意見は、それを受け入れれば効果的だとしても、主観的には「信頼できない」と評価されてしまいやすい。本ミニ講義では、集団判断に潜むそのようなジレンマを、実際の研究事例とともに説明したうえで、集団での話し合いをうまく進める方法について「多様性」の観点から考察することを主題とした。

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	個人レポート(大学入学共通テストを課す学校 推薦型選抜：令和8年度)	問題番号	
対象学部・ 学科(課程)等	情報学部(行動情報学科)		
出題のねらい	本学科での学習内容と学習活動への適合性を見るために、ミニ講義受講とその後のグループワークを踏まえた上で、自分自身の考えを的確かつ明瞭に議論することができているかを審査した。		
採点基準	<p>個人レポートの内容は、次の観点から評価された。</p> <p>(1) 内容理解 (20%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題に適切に回答しているか ・ミニ講義の内容を正しく把握しているか、誤解はないか <p>(2) 論理構造 (40%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として妥当性の高い論理構成になっているか ・結論とそこに至るまでの過程に矛盾や無理がないか ・自分の意見と他者の意見を相対的に捉えているか ・自分の意見と他者の意見を総合的に述べているか <p>(3) オリジナリティ (20%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講義で得られた情報だけでなく、自分なりの考え方が含まれているか ・その回答者だけの独自の視点があるか <p>(4) プレゼンテーション (20%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に対してわかりやすいと考えられる表現をとっているか ・紙上の表現に工夫がみられるか ・誤字脱字、おかしい表現がないか <p>以上.</p>		